

2021年度 第97回天皇杯・第88回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会香川県代表決定戦
《決勝戦》個人得点表

【男子】

2021年4月18日 ツインパルながお体育館

		22	-	16		
		28	-	7		クリッパー
四国電力	84	13	-	20	71	ラブ
		21	-	28		
		/	-	/		

四国電力						
No.	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	香川 誠治	5		2	1	3
6	本井 敏雄	16	1	6	1	1
8	津田 晟多郎	4		2		1
9	福永 直人					
10	渡辺 新	14		6	2	4
12	鈴木 涼太	17		5	7	3
16	梶原 聖大	13	1	5		5
17	鈴木 一渡	4		1	2	1
18	山野 裕太	11	1	2	4	2
合計		84	3	29	17	20

高松工芸クラブ						
No.	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
0	國方俊吾	15	1	5	2	3
1	山中秀斗	11	1	2	4	4
2	上野夢翔					
3	福本紅輝					
5	奥田真大	2		1		1
6	河津郁巳	7	1	1	2	2
7	福田達也					
10	早澤隼					
11	川野裕知	12		5	2	2
13	遠山哲矢					
15	東原祐哉					
23	明見京祐	11		5	1	4
24	高橋海人	0				1
29	濱野富之	2		1		1
34	池本宗太郎	11	2	2	1	3
92	高橋柊斗					
合計		71	5	22	12	21

コーチ	近石 裕幸
ア・コーチ	林 達郎
顧問	小林 功
部長・副部長	善相原浩二・福永実加

コーチ	黒田泰紀
ア・コーチ	奥田真大
マネージャー	堀田大輝

【評】

1Q 立ち上がりは四国電力マンツーマンDF、クリッパーはゾーンDFでスタート。序盤、クリッパーは#0、#34の3Pで得点を重ね10-2でリードする。中盤に入ったあたりで四国電力は、#18の3P、#6の3Pで10-10と追いつく。終盤、四国電力は途中代わった#10の連続シュート、#6の速攻などで22-16でリードして1Q終了。

2Q 開始1分半までは両チーム得点なく進行。その後、四国電力は#18のフリースロー、#12の速攻で18-26とし、クリッパーはタイムアウト請求。タイムアウト後も電力は途中代わって出場している#8の連続シュートで14点差と拡げる。クリッパーは四国電力のゾーンDFで得点が停滞し、リズムがつかれないまま前半を終了。2Q終了して、50-23で四国電力がリード。

3Q 四国電力はゾーンDF、クリッパーはマンツーマンDFで後半スタート。途中30点差まで点が広がる。残り3分でクリッパーは、#29の投入によりリズムを変えることに成功。#34のミドル、#6の3Pとスティールからの速攻で20点差までにする。3Qは63-43で終了。

4Q 四国電力は、序盤から#18#16中心に速攻を盛んに出し、リードを拡げようとする。一方のクリッパーも#23、#0のドライブで得点差を維持していく。残り3分四国電力#16のファウルアウト後、クリッパーはディフェンスプレッシャーから相手ミス誘い、スティールからの速攻で得点を加えていき、13点差まで詰め寄る。しかし、2Q途中からペースをつかんだ四国電力が最後までゲームの主導を握り、結局84-71で四国電力が勝利した。